

令和5年度上半期 医療事故の公表について

令和5年10月18日

町立真室川病院の社会的な説明責任を果たすとともに、病院運営の透明性を高め、市民の医療に対する信頼と、医療の安全管理の確保に資するため、患者のプライバシーに配慮しながら、「町立真室川病院医療事故公表基準」の公表基準に基づき公表を行うこととしております。

令和5年度上半期（令和5年4月1日から令和5年9月30日）に発生した、公表の基準「レベル3b」に該当するものは次のとおりです。

1、発生 の 状 況 1件

2、医療事故の概要等

令和5年9月報告（女性、80代）

<概要>

令和5年9月5日、右上肢腫脹、熱感あり、蜂窩織炎（ほうかしきえん）の疑いと診断された。同月11日、右上肢腫脹、右上腕硬結部分の蜂窩織炎は改善し、同月22日、右上肢腫脹が軽減したことにより、骨変形がみられたため整形外科を受診しレントゲン撮影の結果、右上腕骨骨幹部骨折と診断。

当該患者は寝たきりで意思表示困難な患者であり、明確な骨折の時期や原因は不明であるが、寝衣交換、体位変換時に骨折した可能性が高い。

<改善策>

当該患者は、高齢者、麻痺、骨粗鬆症の症状があり、骨折の危険性が高いため、細心の注意が必要であった。高齢者は骨折しやすいということを常に意識しケアすることが重要あり、骨折リスク研修等を定期的に行い対策を講じる。また、高齢者や麻痺がある患者は特に着替えや体位変換時は注意し愛護的に関わることをとする。